

Kai 研磨システム工程表 (20.08)

塗膜の種類

(0、ペーパー掛け)

(0、肌調整工程)

必要に応じて

1、研磨工程

2、仕上工程

3、超仕上げ工程

1、国産塗料

ゴミの部分の
ペーパー掛け
P1000~
P2000

2、外資系塗料

P1500~
P3000

3、自己修復塗料

P1500~
P3000



(淡・濃色終了)

(黒ソリッド)

注1、この研磨方法はMa i III バッドφ125、To i Zを利用したものです。

注2、横の行は工程順を表し、縦の列は研磨力を表します。1工程目(研磨工程)は選択表の中から「目標とした傷が容易に消せるか?」で決めてください。2工程目以降は、矢印の通りに進めば、必ず綺麗に磨けます。列が左側にあるものは、右側にあるものより、より研磨力あることを表します。注3、Ma i のみをご利用の方は、仕上げ工程と超仕上げ工程のホリツヤをMa i で行ってください。オーロラは若干出ます。注4、外資系塗料の工程で、O IIの傷が消えにくい場合To i Zの工程を何度も丁寧に行うか、To i Zの工程の間にシルキーとNeoBlack、Ma iの工程を行なってください。自己修復塗料の研磨工程で、メリーワールの傷が深い場合は、シルキーメインを使うか、To i Zの工程の間にシルキーとNeoBlack、Ma iの工程を行なってください。注5、スムーズメインは肌調整用です。ペーパー目は消えません。